

第97期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

証券コード：5142

CONTENTS

トップインタビュー	P1
セグメント別事業の概況	P3
コーポレートヒストリー	P9
トピックス	P11
会社概要／株式の状況	P12
連結財務ハイライト・連結財務諸表	P13

おかげさまで

70周年

未来へ世界へ、
……ing.

トップインタビュー

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの第97期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

Q 第97期を振り返ってのご感想をお願いします。

A 当連結会計年度における経済情勢は、国内では雇用と所得環境の改善は続きましたが、将来の不透明感により個人消費支出の回復が進まないことから消費者物価は横ばいで推移し、また企業の設備投資も低調となりました。海外では米国経済が好調を維持し、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気に持ち直しの動きも見られましたが、英国の欧州連合からの離脱決定や米国大統領選挙の結果などによる先行き不透明感の高まりは、世界中の経済に大きなインパクトを与えることとなりました。これらの影響もあり為替相場は不安定な状況が続き、原油をはじめとする原材料価格も上昇へ転じるなど不確実な事業環境が継続しました。

代表取締役社長

伊藤 亨

Q どのような取り組みをされたのか具体的にご説明下さい。

A このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。



その結果、当期連結業績は売上高86,937百万円(前期比1.6%減)、営業利益2,535百万円(前期比35.9%増)、経常利益3,004百万円(前期比25.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,974百万円(前期比22.4%減)となりました。

Q 今後に向けての事業展開についてご説明下さい。

今後わが国の経済は、雇用と所得環境の改善が継続することで個人消費も回復に向かうものと期待されますが、中長期的には少子高齢化がさらに進み人口減少と年齢構成の変化が生産活動や消費行動に大きく影響を与えることが確実視されます。世界的には、新興国の台頭に伴う消費活動の促進の一方で、地球環境の保護や省エネルギーの重要性がますます叫ばれるようになっていくと思われます。また、IoTやAI技術の発達は新たな事業を創出する一方で、既存事業の変革が求められることが予想されます。

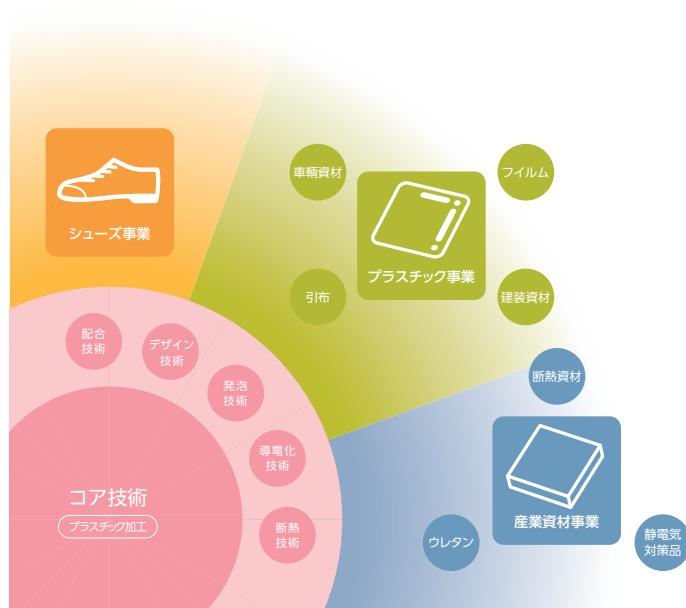
世界・日本における生産活動や消費行動の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」を目指します。

Q 最後に株主・投資家の皆様に向けて一言お願いします。

当社グループは、持続的成長を遂げ企業価値を高めることを目的としてグループ全員が情熱と論理をもって、国際的に逞しい会社を目指し、より大きな企業価値を創造する集団を構築すべく施策を推進いたします。

株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



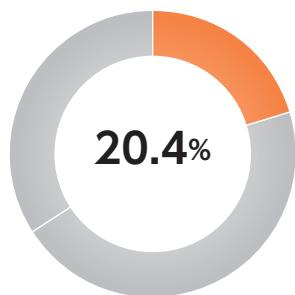
セグメント別事業の概況

シューズ事業

ジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」は、「SYUNSOKU V8」を新たに投入し拡販に注力しましたが、海外ブランドの台頭などにより前年売上を下回りました。一方、「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ

「アキレス・ソルボ」は、主軸の婦人向け製品を全国の有名百貨店へ拡販し、前年売上を上回りましたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

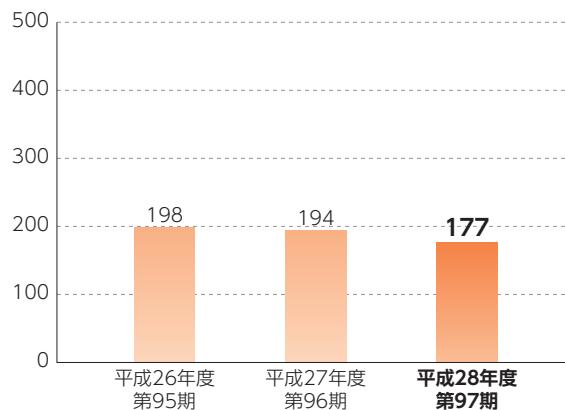
セグメント別売上高



■ 売上高 **177** 億円
(前期比 **8.7%** 減)

シューズ事業売上高推移

単位：億円



プロダクト インフォメーション



瞬足

昨年、累計販売6,000万足を達成した「瞬足」。「SYUNSOBU V8」は、パワフルな大排気量V型8気筒エンジン(ブイハチ)をモチーフに開発されたモデルです。“瞬足史上最高、8つのスパイクで、爆発的スタートダッシュを決めろ!”をキャッチコピーに、アウトソール(靴底)前足部にV型8気筒をイメージした8つの大きなスパイクを配置し、地面をしっかりと掴み、走行時の蹴り出し力を高めます。



ACHILLES SORBO



アキレス・ソルボ

販売が好調な「アキレス・ソルボ」。大人世代にも浸透したスニーカーブームを背景に、若者向けのものとは一線を画し、履くシーンを選ばない上質なデザインと歩く喜びが感じられる機能性を実現する「大人のスニーカー」として開発しました。スニーカーの定番であるホワイトソールには、一体成型の発泡ポリウレタンを採用し、軽さと屈曲性を実現。足裏の動きに対応する自然な歩行をサポートします。アッパーには柔らかな本革を使用し足全体をやさしく包みこみます。

MEDIFOAM (メディフォーム)

マラソンブームの昨今、無理なランニングを繰り返し膝や腰を故障してしまう市民ランナーも増えています。その解決に向けて、当社は素材メーカーとしてのノウハウを結集し、自社開発のPU素材「MEDIFOAM(メディフォーム)」搭載シューズを開発しました。「MEDIFOAM」は高次元の衝撃吸収性、反発弾性、耐久性を誇り、ミッドソール(中底)に使用することで、走行をサポートするとともに体への負担を減らします。無理せず楽に走ることができる「走りながら『リラクゼーション&リカバリー』」をコンセプトにした市民ランナー待望のランニングシューズが誕生しました。



プラスチック事業

車輻内装用資材は、中国マーケットは伸び悩みましたが、国内・北米向けは採用車種の増産により伸長し、全体では前年並みの売上となりました。

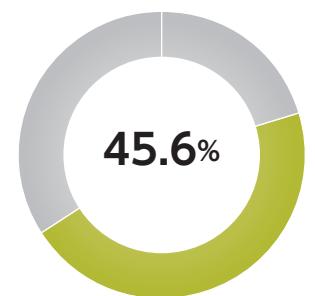
フィルムの国内事業は、内需関連が電材用で好調に推移し、前年売上を上回りました。輸出は、産業用および欧州向け窓用が好調に推移し、前年売上を上回りました。北米事業は、医療用は好調でしたが、文具用・産業用・グ

ラフィック用が低迷し、前年売上を下回りました。農業分野は、生分解用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、大型物件での受注獲得や、新柄投入拡大の成果により、前年売上を上回りました。

引布商品は、内需向けのエアータントおよび引布原反が好調に推移し、前年売上を上回りました。

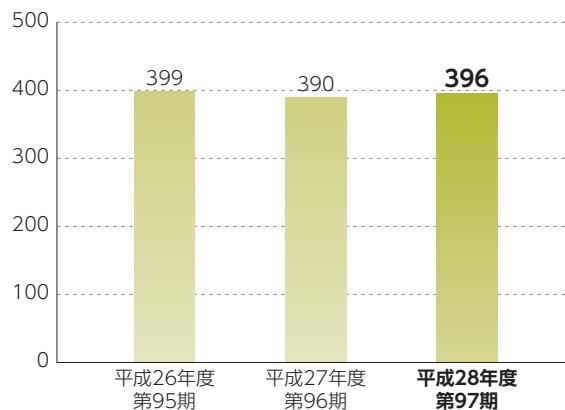
セグメント別売上高



■ 売上高 **396**億円
(前期比 **1.5%**増)

プラスチック事業売上高推移

単位：億円



プロダクト インフォメーション



海外向け窓用フィルム

海外では、レストランやカフェ、住宅のテラスなどの快適な空間を作り出すために、透明フィルムを使用した巻き上げ式のクリアブラインドが好評を得ています。

災害退避用大型送風エアータント

災害時の退避所として体育館の中に迅速に設置する大型送風エアータント。
テント内の空気の流れを一定方向にすることで外部からの汚染を防ぐことができ、また高性能放射性物質除去装置の設置も可能になっています。



海外向け壁紙

世界最大級の壁紙展示会であるドイツ HEIMTEXTILE (ハイムテキスタイル) 展への出展も今回で4回目となりました。ヨーロッパ、中東、アジア各国のバイヤーが来場され、活発な商談が行われました。



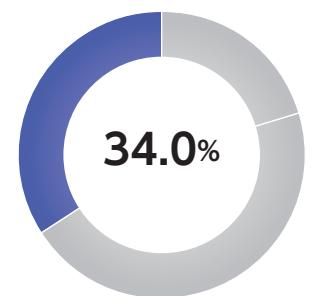
産業資材事業

ウレタンは、寝具・雑貨・車輛用など主力商品が好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、住宅市場の回復、畜産市場の好調を受けボード製品、パネル製品は前年売上を上回りましたが、システム製品、スチレン製品は市場の低迷により苦戦し、全体では前年売上を下回りました。

工業資材は、国内では製造業の国内回帰を受けて、電気対策品の回復と新規分野の開拓が進みましたが、海外は中国・東南アジア市場で減少し、前年売上を下回りました。

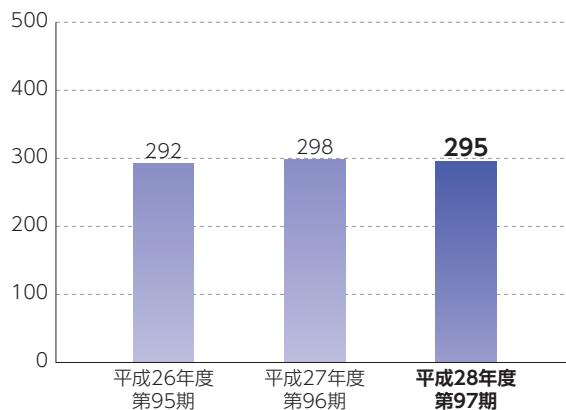
セグメント別売上高



■ 売上高 **295**億円
(前期比 **1.1**%減)

産業資材事業売上高推移

単位：億円

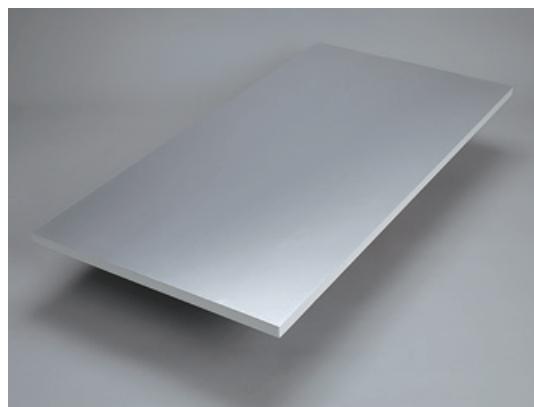


プロダクト インフォメーション



吸放湿性ウレタンフォーム 「モイスタリズム」

「モイスタリズム」は、優れた吸放湿性能を持つ機能性ウレタンフォームです。高湿度状態で水分を吸収し、標準状態では水分を放湿し、繰り返し使用しても性能が維持されます。



高性能硬質ウレタンフォーム断熱材 「ジーワンボード (Z1ボード)」

熱伝導率 $0.018W/(m\cdot K)$ と高い断熱性能を実現した断熱材で、現在市販されている一般用断熱材の中では業界最高水準を誇ります。平成29年10月の発売を予定しており、高断熱住宅や建築物向けに提案してまいります。



ウエハー搬送システム 「プロトキャリアNDM-12」

従来半導体ウエハーをチップ状に加工した後、トレーに移し換え搬送していましたが、テープに貼ったまま重ねて搬送できる容器です。コンパクトで安全なことが、お客様の工程削減、歩留まり改善に貢献し喜ばれております。

アキレス株式会社はプラスチック加工技術をベースに2017年にはおかげさまで創立70周年を迎えることができてこれからも企業理念「社会との共生」=「顧客起点」のもと、

アキレス沿革

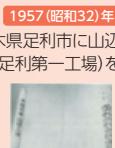
1947(昭和22)年

「興国化学工業株式会社」を設立。
本社を東京都中央区日本橋とし、工場を栃木県足利市に置き、ゴム製品の製造・販売を開始



1951(昭和26)年

本社を東京都中央区新富町に移転



1957(昭和32)年

栃木県足利市に山辺工場(現・足利第一工場)を建設



1962(昭和37)年

東京証券取引所市場第一部に上場



1964(昭和39)年

本社を東京都新宿区大京町に移転

1947年

1950年

1960年

1970年

シューズ事業



1948(昭和23)年

シューズのブランドに「ACHILLES(アキレス)」を制定

プラスチック事業

1957(昭和32)年

農業用ビニールフィルムの製造・販売を開始



1960(昭和35)年

アキレスボートの製造・販売を開始



1963(昭和38)年

当社独自の合成皮革「カブロン」の製造に成功し、販売を開始

産業資材事業

1962(昭和37)年

ウレタン製品の製造・販売を開始



1966(昭和41)年

硬質ウレタン断熱ボード「アキレスボード」の製造・販売を開始

▶ 沿革

- | | | | |
|-------------|--|-------------|--|
| 1947年/昭和22年 | 「興国化学工業株式会社」を設立。本社を東京都中央区日本橋、工場を栃木県足利市に置きゴム製品の製造・販売を開始 | 1964年/昭和39年 | 本社を東京都新宿区大京町に移転 |
| 1948年/昭和23年 | シューズのブランドに「ACHILLES(アキレス)」を制定塩化ビニール製品の製造・販売を開始 | 1966年/昭和41年 | 硬質ウレタン断熱ボード「アキレスボード」の製造・販売を開始 |
| 1951年/昭和26年 | 本社を東京都中央区新富町に移転 | 1969年/昭和44年 | 栃木県足利市に御厨工場(現・足利第二工場)を建設 |
| 1956年/昭和31年 | 大阪府大阪市に大阪支店(関西支社)を開設 | 1972年/昭和47年 | ビニール壁紙の製造・販売を開始 |
| 1957年/昭和32年 | 栃木県足利市に山辺工場(現・足利第一工場)を建設農業用ビニールフィルムの製造・販売を開始 | 1973年/昭和48年 | 米国ワシントン州エヴァレットに「KOHKOKU USA,INC.」(現・ACHILLES USA,INC.)を設立香港駐在員事務所を現地法人とし、「興白有限公司」(現・ACHILLES HONG KONG CO.,LTD.)を設立滋賀県犬上郡郷町に関西工場(現・滋賀第二工場)を建設床材クッションフロア「アートリウム」の製造・販売を開始 |
| 1960年/昭和35年 | アキレスボートの製造・販売を開始 | 1974年/昭和49年 | 北海道美唄市に美唄工場を建設 |
| 1962年/昭和37年 | ウレタン製品の製造・販売を開始東京証券取引所市場第一部に上場 | 1978年/昭和53年 | 滋賀県野洲市に滋賀第一工場を設立アスレチックシューズ「SPALDING」の販売を開始 |
| 1963年/昭和38年 | 当社独自の合成皮革「カブロン」の製造に成功し、販売を開始 | | |

「シューズ」「プラスチック」「産業資材」の3つの事業を展開しております。

きました。

豊かな社会の実現に貢献してまいります。

<p>1973 (昭和48)年 米国ワシントン州エヴァレットに [KOHKOKU USA,INC.] (現ACHILLES USA,INC.)を設立</p> 	<p>1982 (昭和57)年 「興国化学工業株式会社」から「アキレス株式会社」に社名変更</p>  <p>今年、創立50周年を迎えるアキレスの興国化学工業株式会社は、昭和57年(1982年)に、アキレス株式会社に移行変更いたしました。</p>	<p>1993 (平成5)年 中国江蘇省に塩ビレザーの製造合弁会社「昆山阿基里斯人造皮有限公司」を設立</p> 	<p>2013 (平成25)年 関西支社を大阪府大阪市北區中之島に移転</p> 	<p>2015 (平成27)年 本社を東京都新宿区北新宿に移転</p> 
1980年	1990年	2000年	2010年	
<p>1978 (昭和53)年 アスレチックシューズ「SPALDING」の販売を開始</p> 	<p>1991 (平成3)年 エアータントの製造・販売を開始</p> 	<p>2003 (平成15)年 ジュニアスポーツシューズ「瞬足」の販売を開始</p> 	<p>2008 (平成20)年 自社ブランドのウォーキングシューズ「アキレス・ソルボ」の販売を開始</p> 	
<p>1973 (昭和48)年 床材クッションフロア「アートリウム」の製造・販売を開始</p> 	<p>1998 (平成10)年 導電性素材「STポリ」の製造・販売を開始</p> 	<p>2006 (平成18)年 トンネル補修工法「Tn-p工法」発表</p> 		
<p>1982年/昭和57年 「興国化学工業株式会社」から「アキレス株式会社」へ社名を変更</p> <p>1989年/平成元年 福岡県飯塚市に九州工場を建設</p> <p>1991年/平成3年 エアータントの製造・販売を開始</p> <p>1992年/平成4年 中国広東省にシューズの製造会社「広州崇徳鞋業有限公司」を設立</p> <p>1993年/平成5年 中国江蘇省に塩ビレザーの製造合弁会社「昆山阿基里斯人造皮有限公司」を設立</p> <p>1998年/平成10年 導電性素材「STポリ」の製造・販売を開始 ポリオレフィンフィルム「POVIC」の製造・販売を開始</p> <p>2002年/平成14年 中国国内における当社関連製品の輸出入・販売を行うため、中国上海市に「阿基里斯（上海）国際貿易有限公司」を設立</p> <p>2003年/平成15年 ジュニアスポーツシューズ「瞬足」の販売を開始</p>	<p>2006年/平成18年 衝撃吸収素材を製造・販売する「三進興産株式会社」の発行済全株式を取得し、当社子会社とする トンネル補修工法「Tn-p工法」発表</p> <p>2008年/平成20年 半導体市場の拡大に合わせ、台湾新竹市に「阿基里斯先進科技股份有限公司」を設立 高性能硬質ウレタンフォーム断熱材「キューワンボード」の製造・販売を開始 自社ブランドのウォーキングシューズ「アキレス・ソルボ」の販売を開始</p> <p>2013年/平成25年 関西支社を大阪府大阪市北區中之島に移転</p> <p>2015年/平成27年 本社を東京都新宿区北新宿に移転 ウレタン製品の製造・販売拡大のため山形県最上郡金山町に「山形アキレスアロン株式会社」を設立 神奈川県横浜市中区の元町商店街に「アキレス・ソルボ」の直営1号店をオープン</p> <p>2016年/平成28年 「瞬足」が販売開始から14年目で累計販売6,000万足を突破</p>			

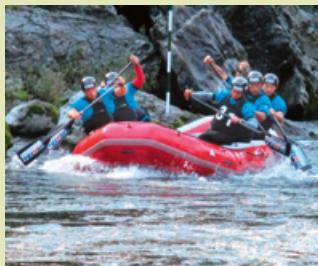
アキレス・ソルボの直営店「アキレス・ソルボ 吉祥寺店」オープン

平成28年12月1日、都内有数の人気商店街「吉祥寺ダイヤ街」（東京都武蔵野市）にコンフォートシューズブランド アキレス・ソルボの直営2号店となる「アキレス・ソルボ 吉祥寺店」を新たにオープンいたしました。

吉祥寺は、東京都の中でも長年にわたり『住みたい街』の上位にランクインする人気エリア。駅からのアクセスもよく衣食住すべてが魅力的な商店街「吉祥寺ダイヤ街」において、平日休日問わず訪れる多くのファッション感度の高いお客様にご支持をいただいております。



ラフティング世界選手権の大会公式艇に当社ボートが採用



平成29年10月、徳島県三好市で開催される「ラフティング世界選手権2017」において、参加全チームが使用する大会公式艇に当社のボートが採用されました。

レースモデルの開発にあたっては、国内唯一のプロラフティングチームである「ラフティングチーム・テイケイ」のメンバーに協力いただき、吉野川の激流での戦いに必要な要望を聞き、幾度もの試走と改良を重ねました。その結果、プロチームも満足するボートが完成し、大会公式艇として採用に至りました。

日本代表は、その実力からメダルの期待も高く、世界一の座に輝くことが期待されています。



送電鉄塔基礎高上げ対策に「アキレスエアロン-R」が採用



平成28年9月、東北電力(株)の送電鉄塔基礎高上げ対策として、当社の「アキレスエアロン-R」が採用されました。送電鉄塔は山間部、農地、市街地等、様々な場所に設置されていますが、近隣の造成により敷地内がくぼ地となり降雨が滞留し、鋼材にサビの侵食が懸念されました。「アキレスエアロン-R」での高上げ対策により、雨水滞留や雑草の発生を予防し、鉄塔への負担が軽減される延命効果も実現しました。現在、東北電力(株)以外の電力会社も採用を検討していただいております。



会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (平成29年3月31日現在)

社名	アキレス株式会社
設立	昭和22年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,330名
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階

営業所	北海道営業所 / 東京営業所 大阪営業所 / 九州営業所 その他4営業所
工場	足利第一工場 / 足利第二工場 / 足利第三工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
主な連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯 (上海) 国際貿易有限公司 アキレスコアテック(株) 関東アキレスエアロン(株) 大阪アキレスエアロン(株) その他17社

● 役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	伊藤 守	
専務取締役	小林 英明	(製造部門管掌兼生産革新担当)
常務取締役	美濃 眞	(営業部門統轄兼プラスチック部門担当)
取締役	藤澤 稔	(経理本部長)
取締役	日景 一郎	(営業部門統轄補佐兼産業資材部門担当兼購買担当)
取締役	荒木 謙一郎	(CSR・人事総務担当兼コンプライアンス本部長)
取締役	永島 照明	(シューズ部門担当兼シューズ製造本部長)
取締役	米竹 孝一郎	
常勤監査役	富川 隆	
常勤監査役	山田 茂	
監査役	須藤 昌子	
監査役	有賀 美典	

注記 1. 取締役米竹孝一郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役須藤昌子氏および有賀美典氏の両氏は、社外監査役であります。

● 株式の総数等 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	18,362,714株
株主数	14,383名

● 株式分布状況 (平成29年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社所有の自己株式723千株があります。

● 執行役員 (平成29年6月29日現在)

執行役員	柏瀬 功次	(建築事業部長兼デザインセンター長兼建築販売部長)
執行役員	山本 勝治	(ウレタン事業部長兼支社ウレタン販売部長)
執行役員	小林 俊一	(滋賀地区製造担当兼製造管理本部長)
執行役員	小大 蔵孝	(車輛資材事業部長)
執行役員	大宮 寄徹	(関西支社長兼支社総務部長)
執行役員	嶋倉 茂夫	(プラスチック製造本部長兼プラスチック工場長兼製品設計部長)
執行役員	嶋倉 茂夫	(断熱資材事業部長兼支社断熱資材販売部長)
執行役員	松田 光弘	(ACHILLES USA, INC. 社長)
執行役員	鈴木 卓郎	(研究開発本部長兼研究開発部長)
執行役員	中山 直樹	(シューズ事業部長兼シューズ営業本部長)
執行役員	海野 実夫	(化成品事業部長兼フィルム販売部長)
執行役員	根寺 岡伸	(人事総務部長)
執行役員	松宮 稔	(物流改革担当兼情報システム部長)
執行役員	横山 浩樹	(産業資材製造本部長兼工業資材工場長)

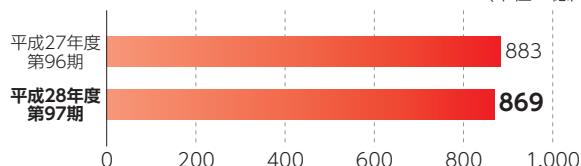
● 大株主 (平成29年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	863	4.90
東京アキレス協和会	711	4.03
足利アキレス協和会	550	3.12
株式会社三菱東京UFJ銀行	440	2.50
みずほ信託銀行株式会社	431	2.45
朝日生命保険相互会社	431	2.45
大阪アキレス協和会	425	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	390	2.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	388	2.20
株式会社足利銀行	343	1.95

注記 上記のほか、当社所有の自己株式723千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

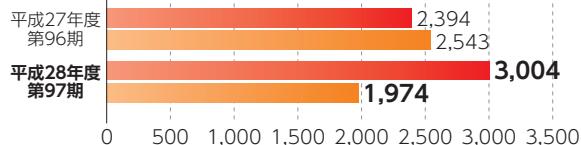
売上高

(単位：億円)



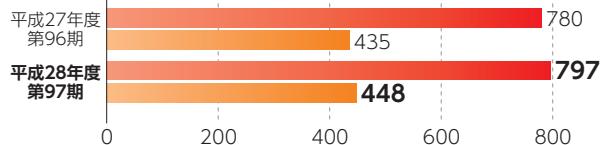
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



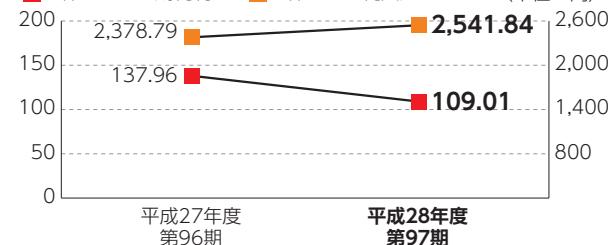
総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産 (単位：億円)



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産

■ 1株当たり当期純利益 ■ 1株当たり純資産 (単位：円)



※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産を算定しております。

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成29年3月31日現在	前連結会計年度 平成28年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	51,361	50,473
固定資産	28,359	27,534
有形固定資産	18,415	18,393
無形固定資産	434	539
投資その他の資産	9,508	8,601
資産合計	79,720	78,007
【負債の部】		
流動負債	26,202	25,489
固定負債	8,680	8,976
負債合計	34,883	34,466
【純資産の部】		
株主資本	42,527	42,357
その他の包括利益累計額	2,309	1,183
純資産合計	44,837	43,541
負債・純資産合計	79,720	78,007

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	前連結会計年度 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	86,937	88,344
売上原価	68,743	70,943
売上総利益	18,193	17,400
販売費及び一般管理費	15,658	15,534
営業利益	2,535	1,865
営業外収益	571	699
営業外費用	102	170
経常利益	3,004	2,394
特別利益	591	2,039
特別損失	675	380
税金等調整前当期純利益	2,920	4,053
法人税、住民税及び事業税	990	564
法人税等調整額	△44	945
当期純利益	1,974	2,543
親会社株主に帰属する当期純利益	1,974	2,543

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	前連結会計年度 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,296	2,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,271	△851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,884	△1,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	△120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,993	829
現金及び現金同等物の期首残高	7,955	7,126
現金及び現金同等物の期末残高	9,949	7,955

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	14,640	9,742	18,055	△81	42,357	1,056	△388	888	△373	1,183	43,541
当期変動額											
剰余金の配当			△732		△732						△732
親会社株主に帰属する当期純利益			1,974		1,974						1,974
自己株式の取得				△1,072	△1,072						△1,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						44	511	△484	1,054	1,126	1,126
当期変動額合計	-	-	1,242	△1,072	169	44	511	△484	1,054	1,126	1,296
当期末残高	14,640	9,742	19,297	△1,153	42,527	1,101	122	404	680	2,309	44,837

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度 剰余金の配当基準日	毎年4月1日から翌年3月31日まで 3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会 単元株式数 株主名簿管理人	6月中 100株 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く) みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<https://www.achilles.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

※平成28年10月1日を効力発生日として当社普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合に伴い、単元株式数を1,000株から100株に、発行可能株式総数を7億株から7千万株に変更しており、発行済株式総数は183,627,147株から18,362,714株になっております。

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
(電話03-5338-9205)

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」と、医療分野でも使用されている衝撃吸収・圧力分散素材「SORBOTHANE」を踵部に装着し、歩きやすく、疲れにくいウォーキングシューズ「ACHILLES SORBO(アキレス・ソルボ)」、パンプスなのに歩きやすい「ALL DAY Walk」、そして「SORBOTHANE」の特性を活かしたインソール、サポーターなどを100株以上ご所有の株主の皆様へ、ご優待価格でお買い求めいただけます。

ACHILLES SORBO



あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
www.fsc.org
FSC® C013080

VEGETABLE
OIL INK